



春水作
假名讀八犬行

九

^ 13
3701
9



一層高國々々
為多善多比

八
九海上



八
九海上

八
九海上

九
海上

真
作

國
畫

文
溪
堂
印



玉
石
子





卷之九

門心 13
號 3701
卷 9



若永春水佐
犬傳九編
一勇斎園芳直

嘉永三戊辰板

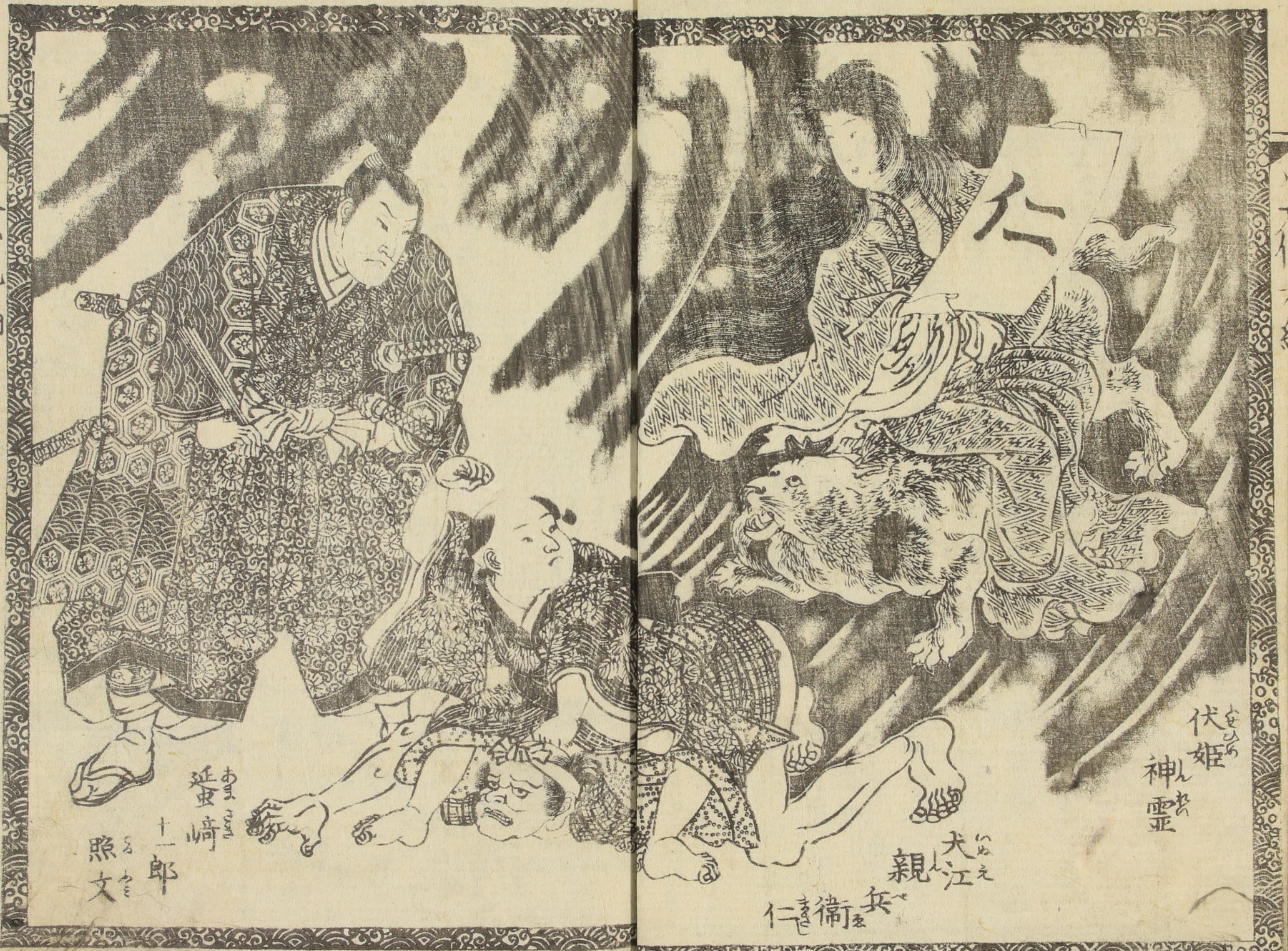
犬傳

九編上

夫長きりの短き成る大なるも小と兼ぬ。またのくろく長き
 世小。長考の橋の長きと君が齡ひと長濱の鶴の千歳になん
 るまど。長き成るとよ詞めて山鳥の尾の長きいささう。南極星の
 天窓の長き吸付良の長烟管。尅の返辞と樋竹賣。是等
 ハ引の長き成りいと。別て女中の長裾へびいて駒下駄の踵
 をうち。角前髪の長振袖はるびいて柳の風次女をうづへ小ハ
 潮来の字ありふし。さちうさん。長文句も。つれ當世小おひと
 の松長は采へや。是も余沢と僕。長編よ筆を採り。短き
 方小延まが。鼻の下谷の草菴小。春の長き日あつく。綴り
 出せも看官の。長き咲ひよそまへん。さあのも

嘉永二酉仲春稿成
 同 三戌孟春新鵠

二傳七編



照文
十一郎
延重

親江
仁衛兵

伏姫
神靈

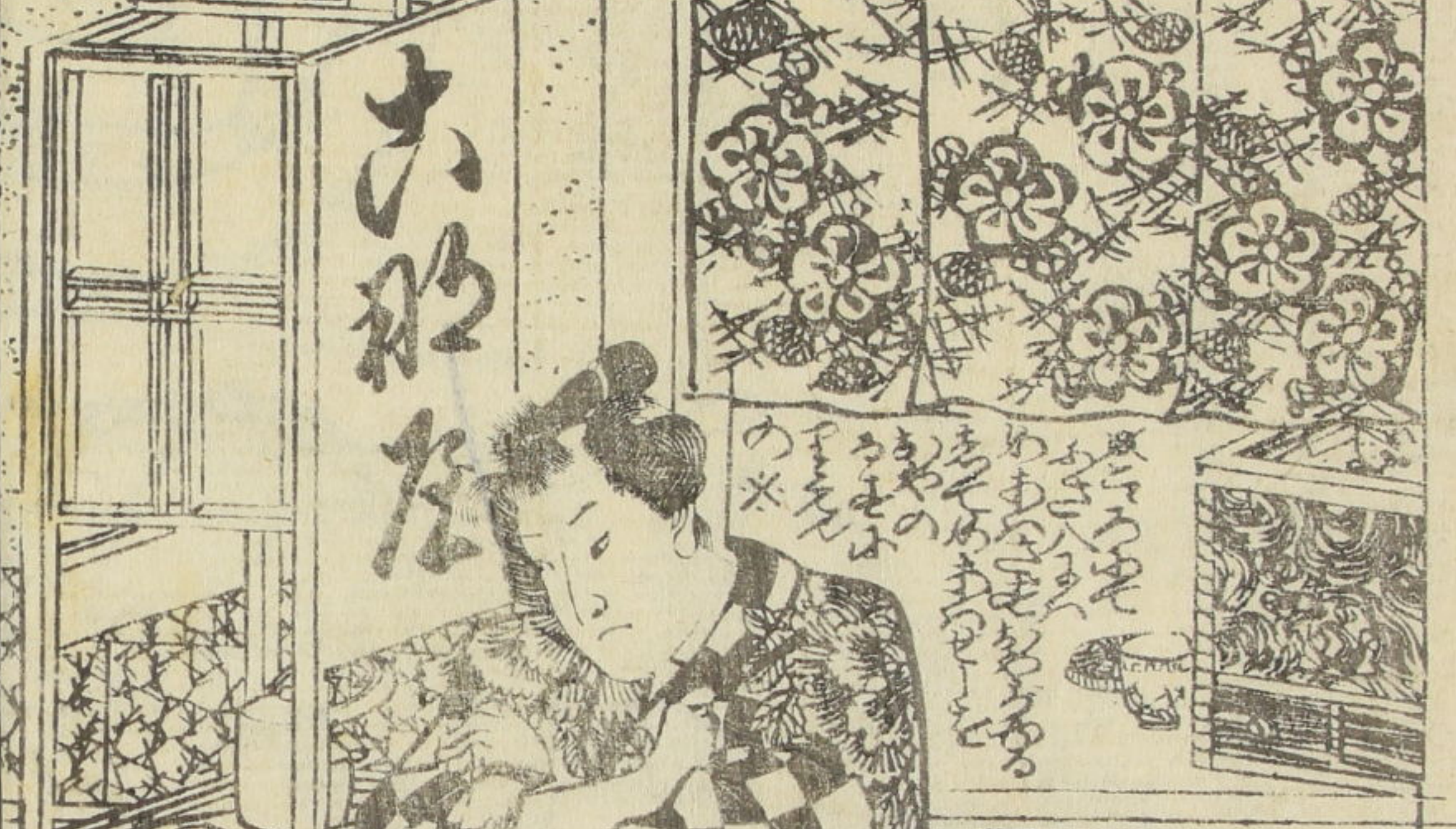
Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or commentary, located at the top of the left page.



丁 卯

二

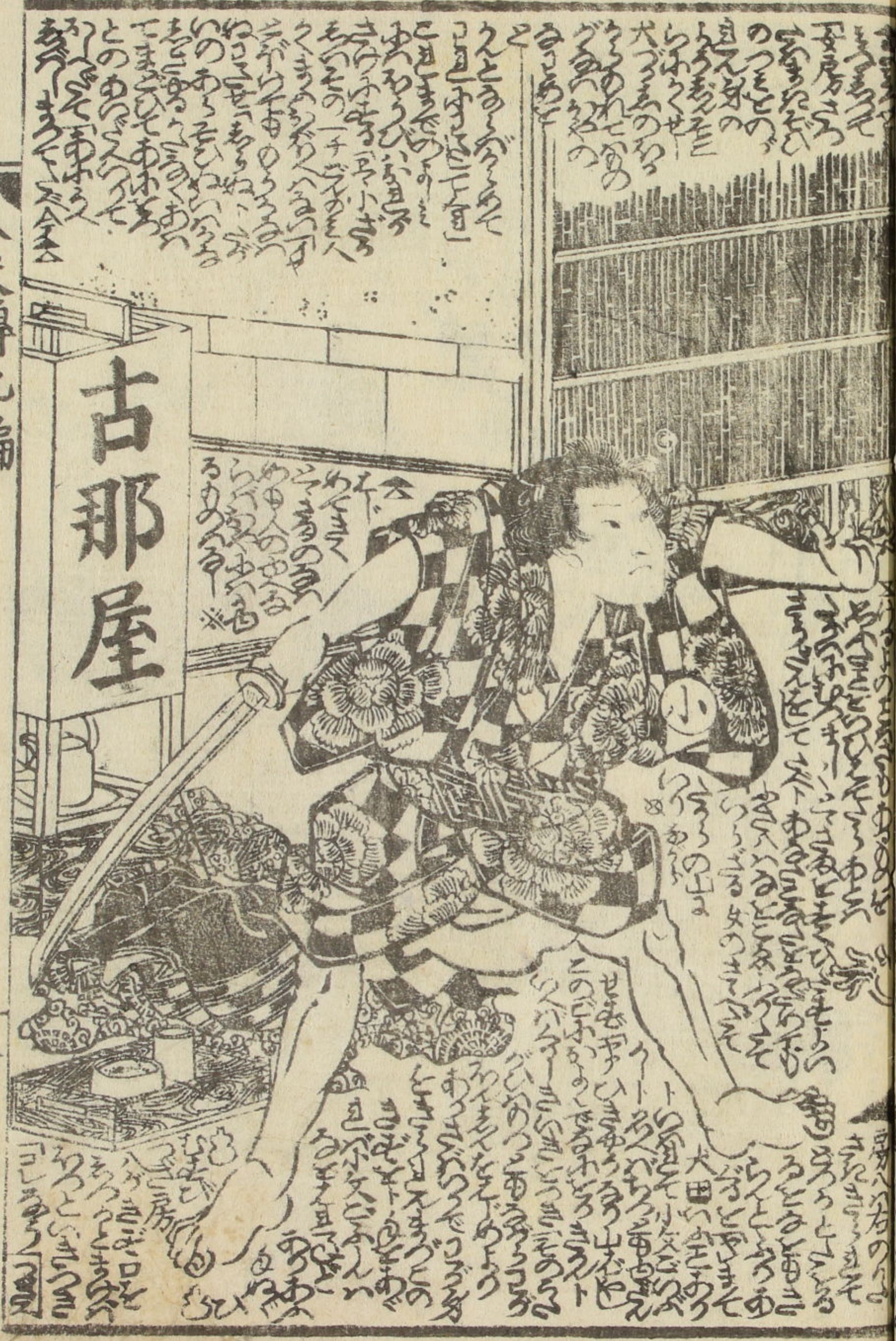
Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the right page.



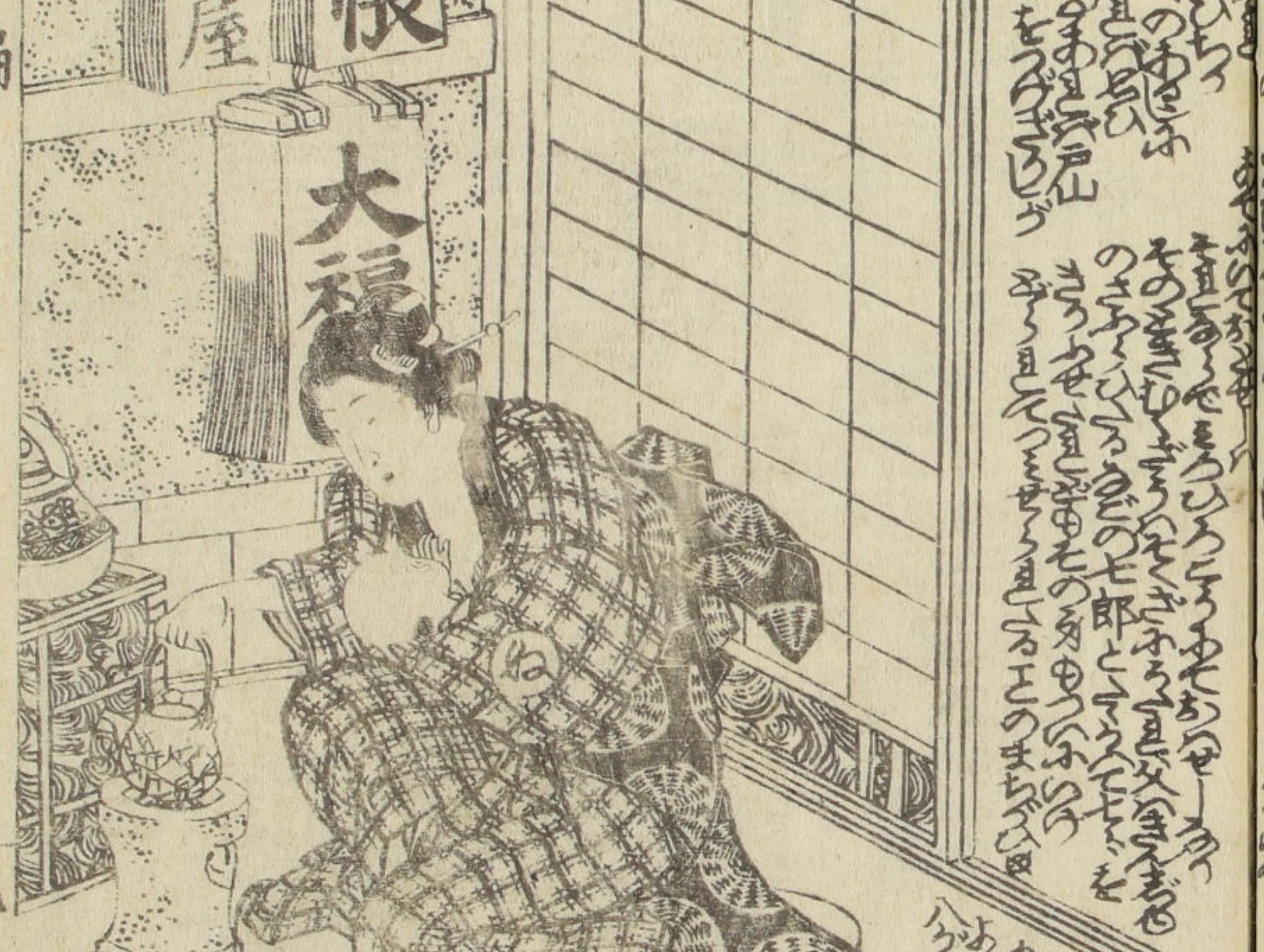
Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the right page.

大船

古那屋



あまのり... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋...



あまのり... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋...

あまのり... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋...



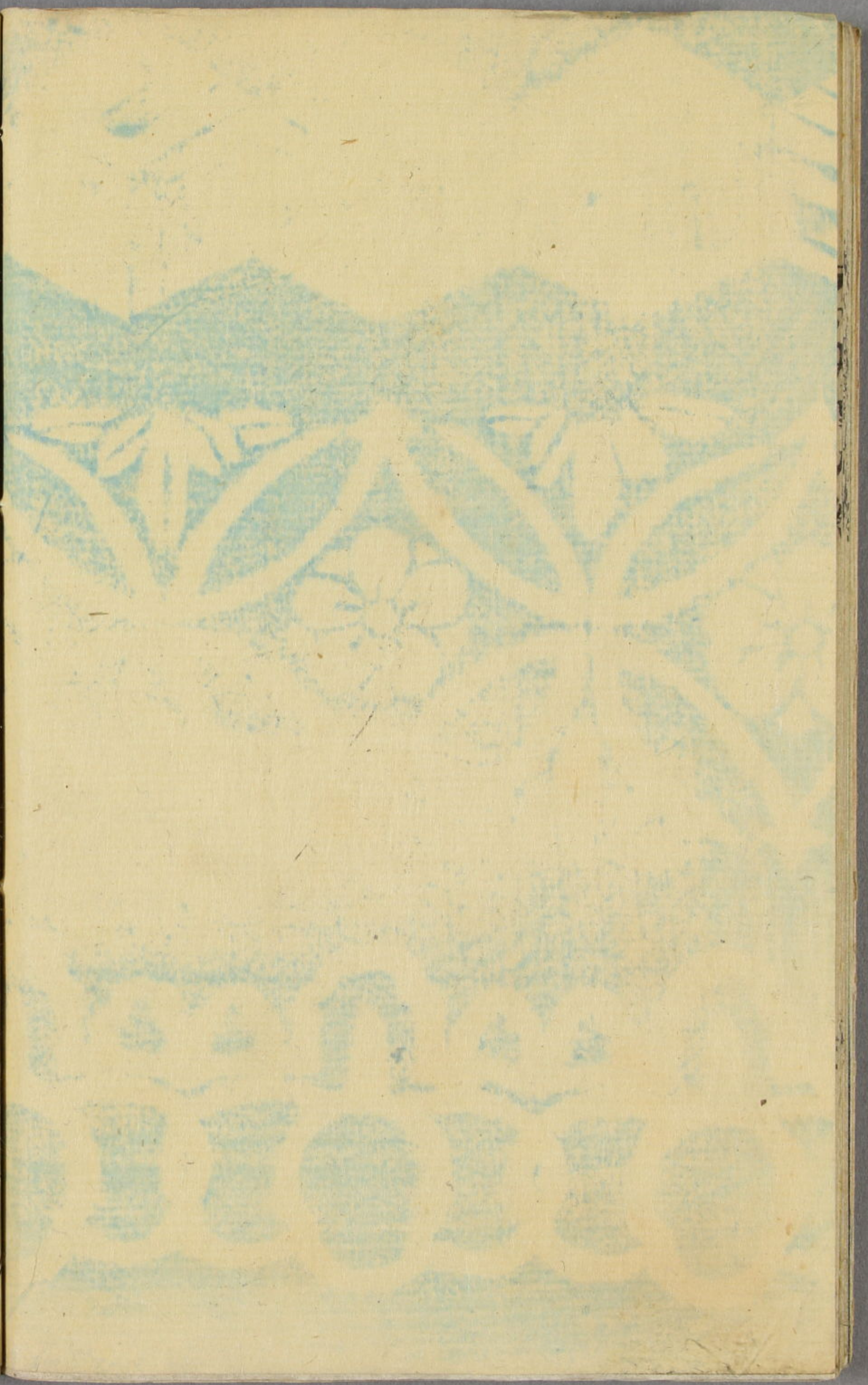
あまのり... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋... 大船帳... 大福... 大屋...

一馬刀高玉与
為多美和作



小
高
人
作

下

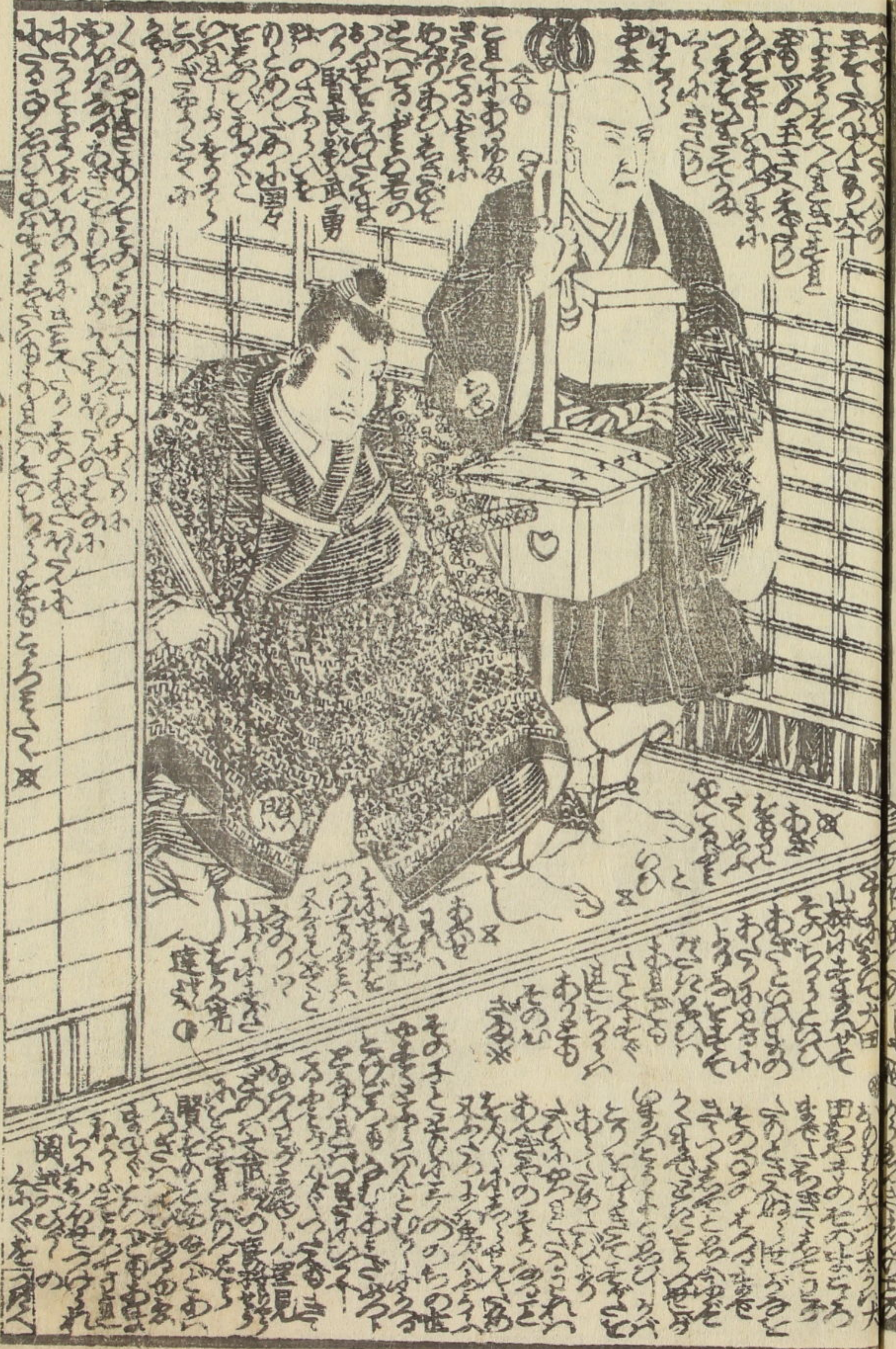




Handwritten Japanese text at the top of the pages, including the title '傳乙編' on the left page and various vertical columns of text on both pages.

Handwritten Japanese text in the middle sections of the pages, interspersed with the illustrations.

Handwritten Japanese text at the bottom of the pages, including a large block of text at the bottom of the right page.



Vertical text on the left margin of the first page.

Vertical text on the right margin of the second page.

Small vertical text at the bottom left of the first page.

Small vertical text at the bottom right of the second page.



そのおのゝのまゝその
あつてハハハハハ
その子ハ仁の字のありて
そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく



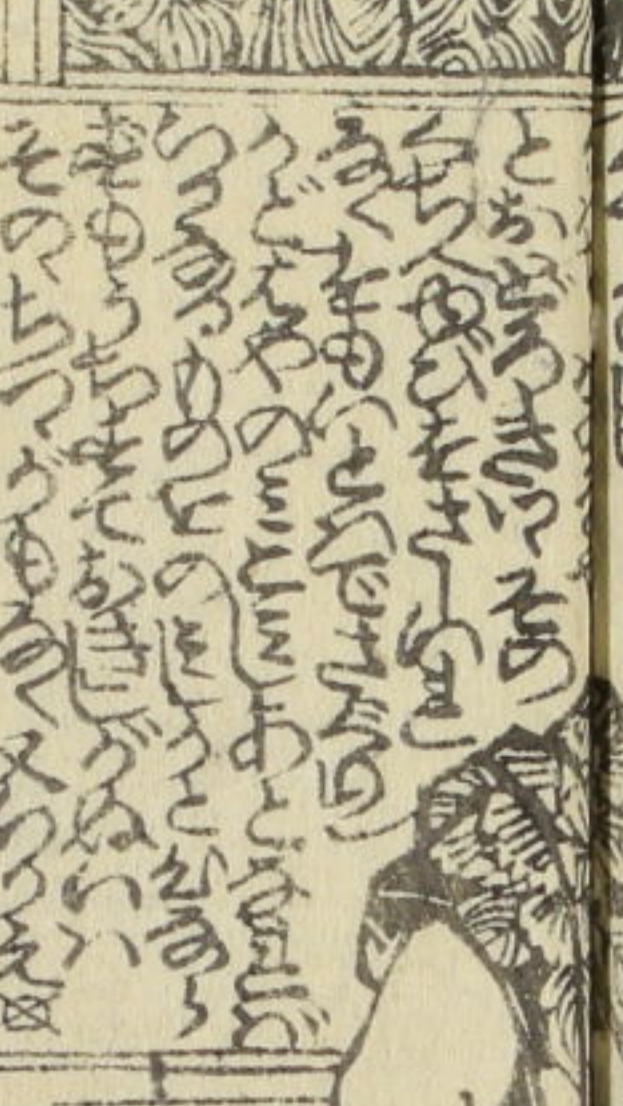
△このまゝとあるあやふく
手合といへ大士のむね
つらふく
そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく

八方の大富山
ハハハハハ
そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく



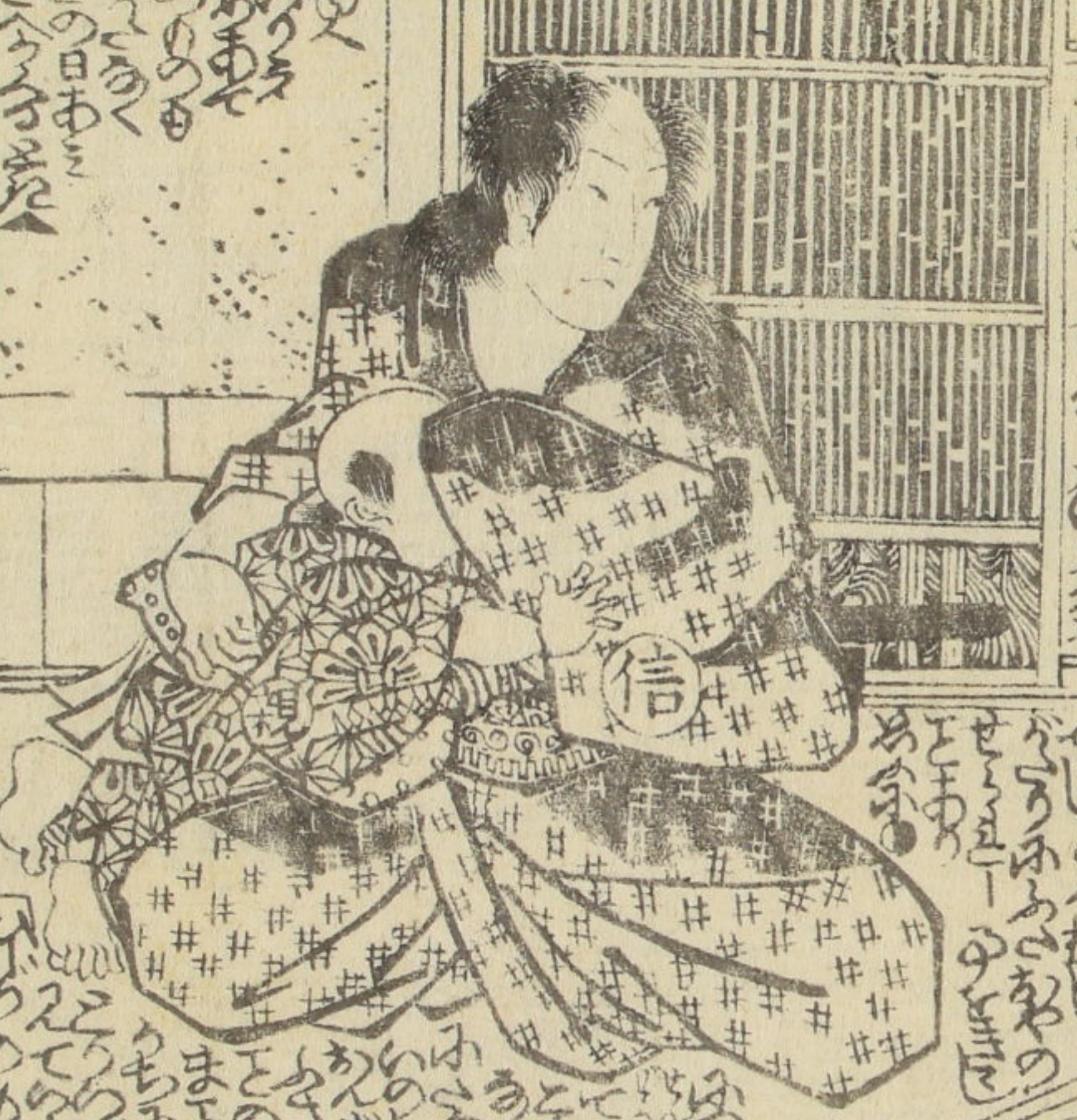
そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく

八方の大富山
ハハハハハ
そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく

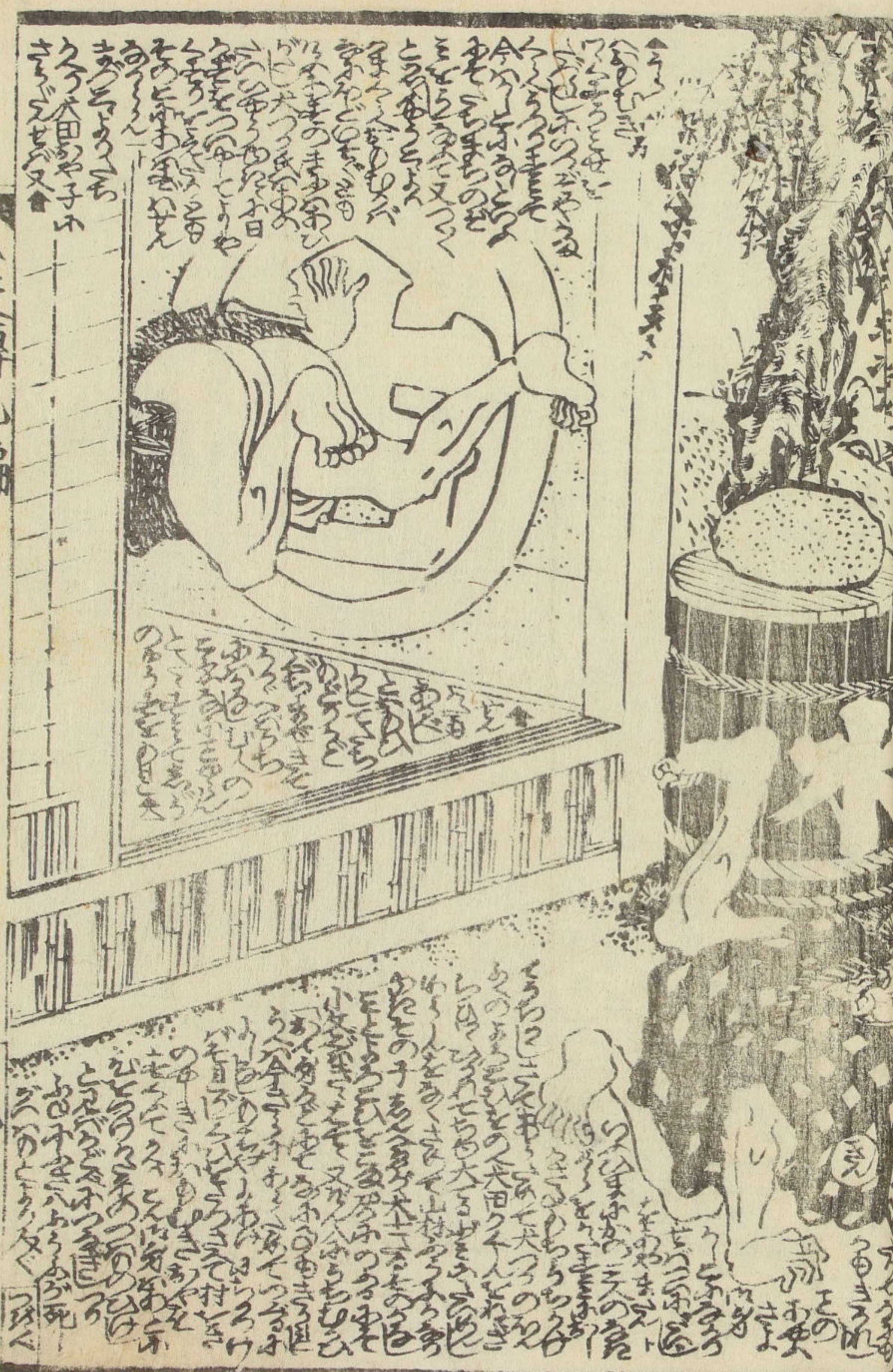


そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく

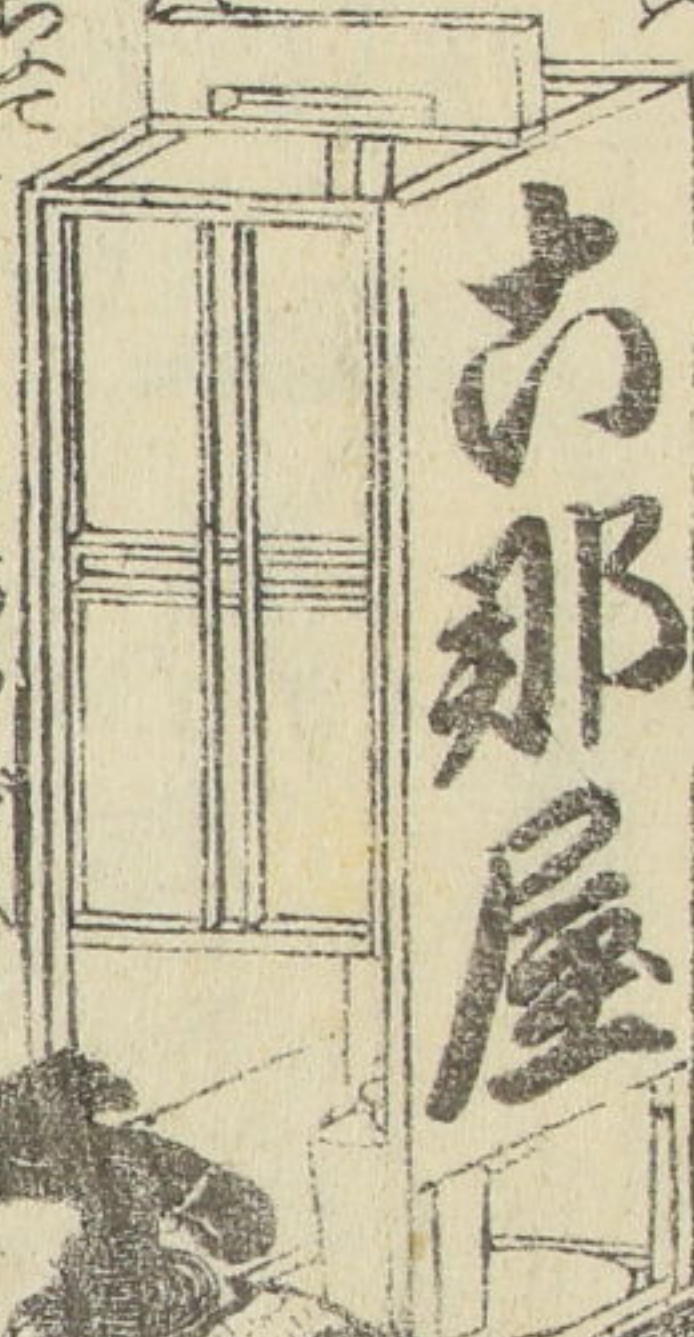
八方の大富山
ハハハハハ
そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく



そのまゝとてそのあやふく
大主とあるこの貞平の貞
の字を親の字の字ハ
大仁とあるこの大仁親ハ
手合とあるこのあやふく
ハハ再世といへ大士のむね
つらふく



お那屋



市川の大工の屋敷...
あつてゐる...
おなや...
あつてゐる...
あつてゐる...

あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...



あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...

あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...



あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...

あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...
あつてゐる...

お那屋の物語

お那屋の物語

六ヶ傳カ結

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

一勇齋國芳画



大表のぶん八かあとのの

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

ついでにちりちり大いしををちりちり

假

Vertical column of handwritten Japanese text on the left page.

